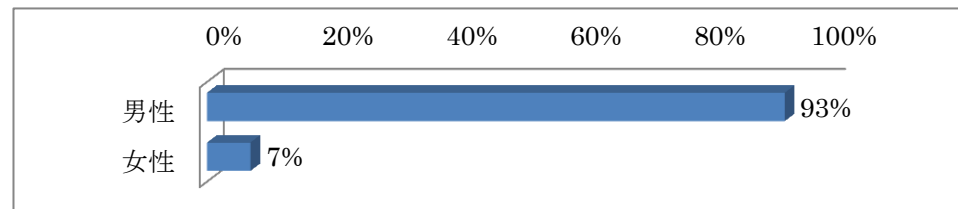


寿町なんでもSOS班事業 ヒアリング結果統計 (NPO法人 さなぎ達)

①ヒアリング対象者の基本事項

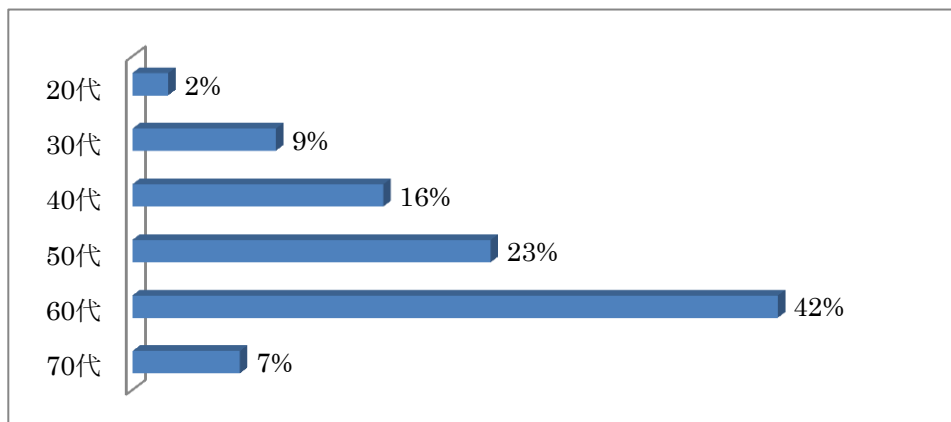
1、対象者の性別

男性	40名	93%
女性	3名	7%
回答数計	43名	100%
未回答者数	0名	



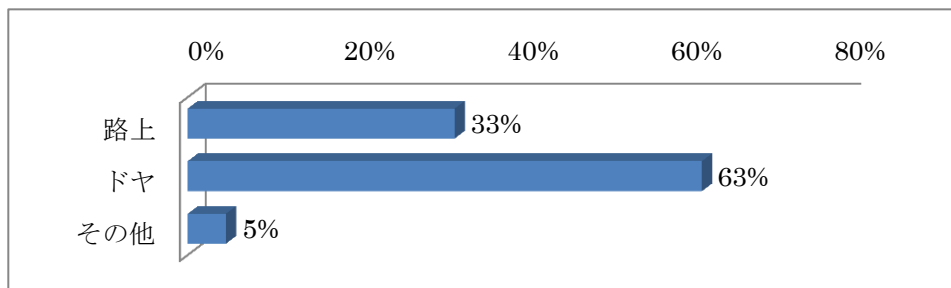
2、対象者の年代

20代	1名	2%
30代	4名	9%
40代	7名	16%
50代	10名	23%
60代	18名	42%
70代	3名	7%
回答数計	43件	100%
未回答者数	0名	



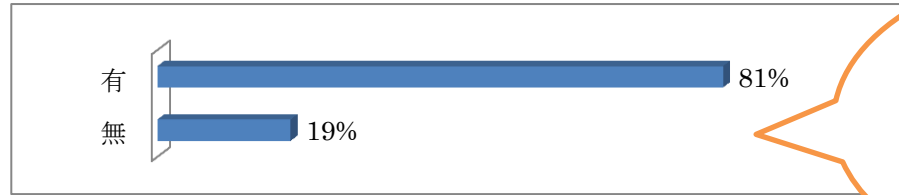
3、対象者の主な居所

路上	14名	33%
ドヤ	27名	63%
その他	2名	5%
回答数計	43名	100%
未回答者数	0名	



2、 対象者の路上生活経験の有無

有	34名	81%
無	8名	19%
回答数計	42名	100%
未回答者数	1名	



生活保護受給者であっても路上生活経験がある方が、さなぎの家の利用者の多くを占めることが推測できる。

② さなぎの家に関して

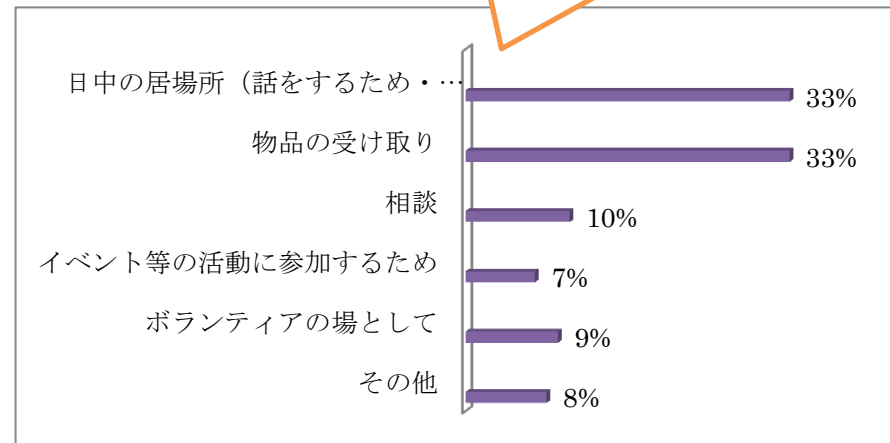
問1、 さなぎの家を利用したことがありますか？（グラフ割愛）

はい	43名	100%
いいえ	0名	0%
回答数計	43名	100%
未回答者数	0名	

予想通り日中の居場所・物品の受け取りを主な利用目的とする方が多くそれぞれ33パーセントを占めた。尚、この項目では複数回答可であったが、ほとんどの方が単一の目的ではなく複数の回答を挙げた。

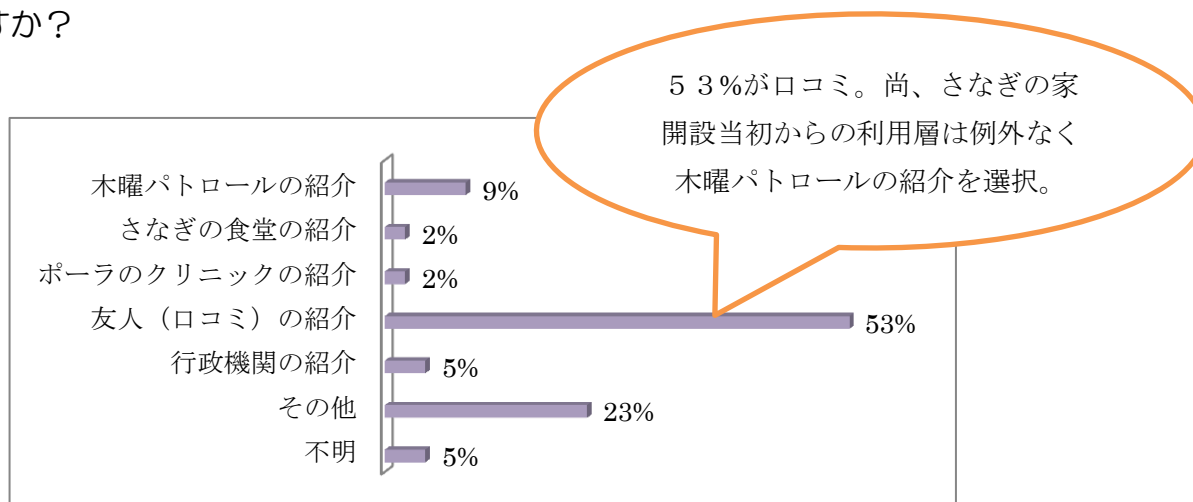
問1-1 はいと答えた方、さなぎの家を利用する目的は何ですか？（複数回答可）

日中の居場所（話をするため・休むため）	28名	33%
物品の受け取り	28名	33%
相談	9名	10%
イベント等の活動に参加するため	6名	7%
ボランティアの場として	8名	9%
その他	7名	8%
回答数合計	86件	100%
回答者数	43名	
未回答者数	0名	



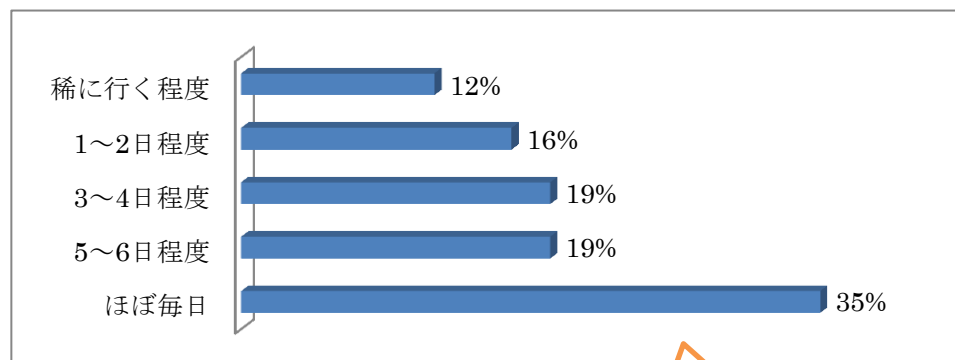
問1-2 さなぎの家を利用しはじめたきっかけは何ですか？

木曜パトロールの紹介	4名	9%
さなぎの食堂の紹介	1名	2%
ポーラのクリニックの紹介	1名	2%
友人（ロコミ）の紹介	23名	53%
行政機関の紹介	2名	5%
その他	10名	23%
不明	2名	5%
回答数計	43名	100%
未回答者数	0名	



問1-3 さなぎの家を利用する頻度はどの程度ですか？

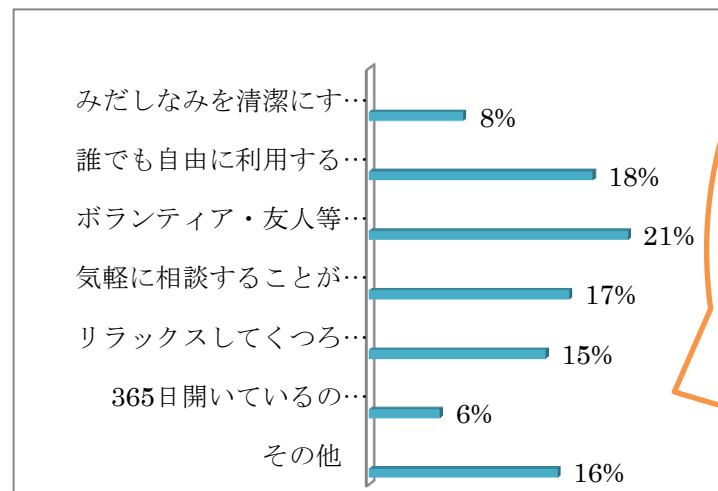
稀に行く程度	5名	12%
1~2日程度	7名	16%
3~4日程度	8名	19%
5~6日程度	8名	19%
ほぼ毎日	15名	35%
回答者数計	43名	100%
未回答者数	0名	



週の約半分以上にあたる3日~4日程度以上の合計が73%

問1-4 さなぎの家の良い点・気に入っている点があればお聞かせください。(複数回答可)

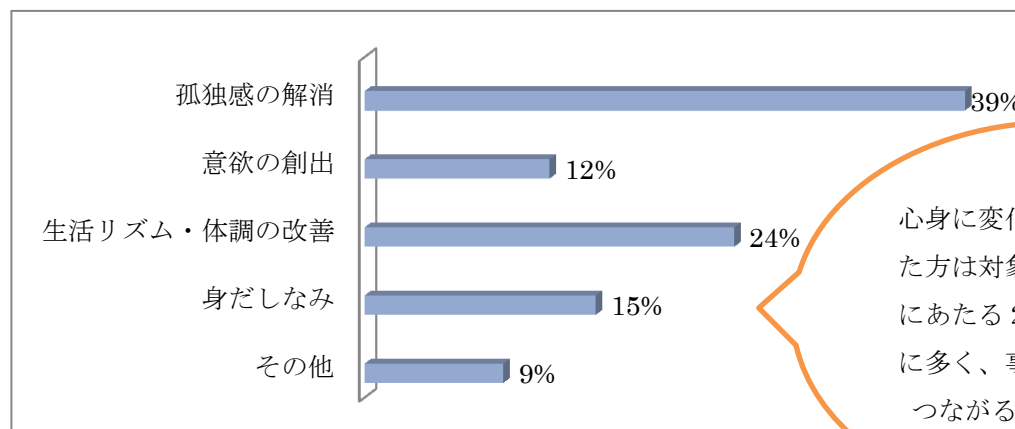
みだしなみを清潔にすることができる	8名	8%
誰でも自由に利用することができる	19名	18%
ボランティア・友人等と会話ができ、孤独じゃなくなる	22名	21%
気軽に相談することができる	17名	17%
リラックスしてくつろぐことができる	15名	15%
365日開いているので、いつでも相談ができる。	6名	6%
その他	16名	16%
回答数合計	103件	100%
回答者数	43名	
未回答者数	0名	



365日相談できるとの回答を得た対象者は数字としては少ないが、緊急性の高い相談内容での相談経験を持つ方であったことを特筆する。

問1-5 さなぎの家を利用したことを通じて、生活や考え方に変化がありましたか？ある場合はどういった変化かお聞かせください。

孤独感の解消	13名	39%
意欲の創出	4名	12%
生活リズム・体調の改善	8名	24%
身だしなみ	5名	15%
その他	3名	9%
回答数計	33件	100%
回答者数	27名	
未回答者数	16名	



心身に変化があったと答えた方は対象者の全体の6割にあたる27名であり非常に多く、事業効果の実感につながる結果となった。

※以下 ヒアリング内容

- 色々な人との会話ができることによって、部屋で一人で考え込む時間が少なくなった。
- 自分にとってはさなぎの家でボランティアすることが就労の場として考えるようになった。それにより自発的な意見ができるようになった。
- 寿町で生活し始めた頃は、他の住民たちを差別的な目で見ている、こんな街に居たくない・ろくでもないやつしかいないと試みていたけど、実際に皆が集まる場で話をする事で、寿町に対する居心地の悪さを感じなくなった。

- 身だしなみが整った。冬物の服は生活保護になったとしてもなかなか買えないと思う。
- ボランティアの場として活用させてもらった。それにより、体調・精神面が次第に整い良いリハビリになった。おかげで今は作業所に通っている。
- 前は常に部屋で一人だった。今は人との交流が増えた。
- 路上で暮らす間に自分自身の姿を見なく（気にしなく）なっていた。人が集まるところに参加することによって、再び身だしなみなどに気をつけるようになった。
- 同じような境遇の人間と話すことにより、気が楽になった。一人でずっと野宿生活を続けるのは精神的に本当にきつかった。
- 悩み事がたくさんある。部屋にいとそれらが次々頭に浮かんでくるがさなぎの家に来ていればそういうことはない。
- さなぎの家でビッグイシューの販売を紹介してもらったおかげで酒が止められた。

問1-6 今後もさなぎの家を利用したいと思いますか？（グラフ割愛）

はい	43名	100%
いいえ	0名	0%
回答者数計	43名	100%
未回答者数	0名	

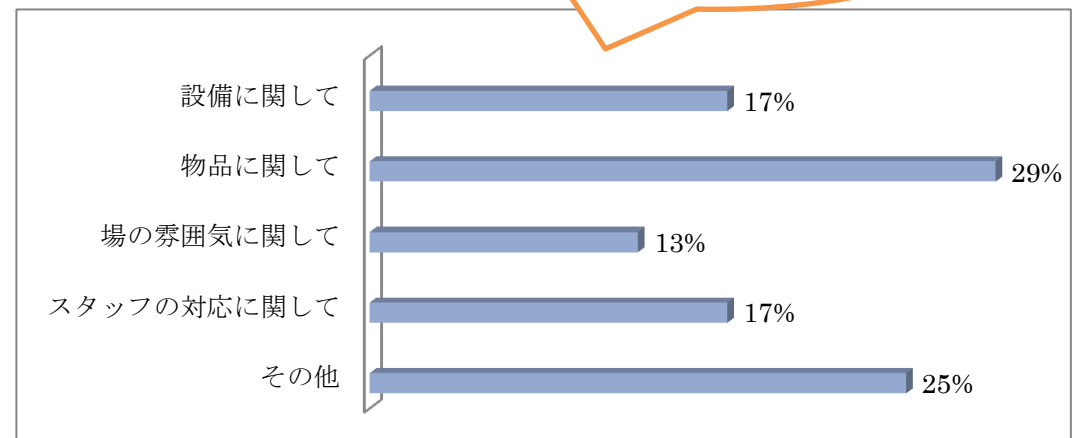
問1-7 いいえと答えた方、さなぎの家を利用しない理由はありますか？（複数回答可）

※問1-6において「いいえ」の回答が無かったため、実施せず

問2 さなぎの家への要望や改善案があればお聞かせください。

設備に関して	4名	17%
物品に関して	7名	29%
場の雰囲気に関して	3名	13%
スタッフの対応に関して	4名	17%
その他	6名	25%
回答数計	24件	100%
回答者数	22名	
未回答者数	21名	

現に路上生活を送っている方からはかなり細かく物品への要望があがった。緊急の際の受け渡しなど、柔軟な対応への改善の必要性が有る。



※以下、ヒアリング内容

- 生活保護と路上生活の人でみえない壁があるように感じる。
- 本・DVDなどの貸し出しが豊富にあると嬉しい。
- お湯が出ると良い。
- 禁酒・禁煙がルールだということをもっと分かりやすく見せたほうが良い。(ポスターなどで)
- ボランティア同士の意見交換の場があると良いのでは。
- 7時ごろまでやってほしい。
- 花の手入れなどができる場が今以上に増えるとよい。
- 食べ物を持って帰ってしまう人が目につく、注意したほうがよい。
- 掃除をもう少ししっかりやってほしい。
- 生活保護をもらっている人でも物を毎日のように持っていけるのはおかしい。
- それぞれが持っている特技を生かすことができるようなイベントを企画してほしい。
- 仕事の紹介があるといい。
- 入口のところにたくさん人がいると入りづらい。
- 衣類のサイズをわかりやすくしてほしい。
- 2種施設に入る人が自分の周りに多いように感じるが、ひどい施設も多いみたいで逃げるように出てきてしまう人が多い。そういった施設の優劣がわかると、とても助かる。
- 騒ぎすぎている人がいるときはちゃんと注意したほうがよい。
- 席が少ない。
- 風呂に安く入れるような仕組みがあれば。
- もう何か所か同じような場所があるとよい。(横浜駅で野宿しているため)

③ 相談に関して

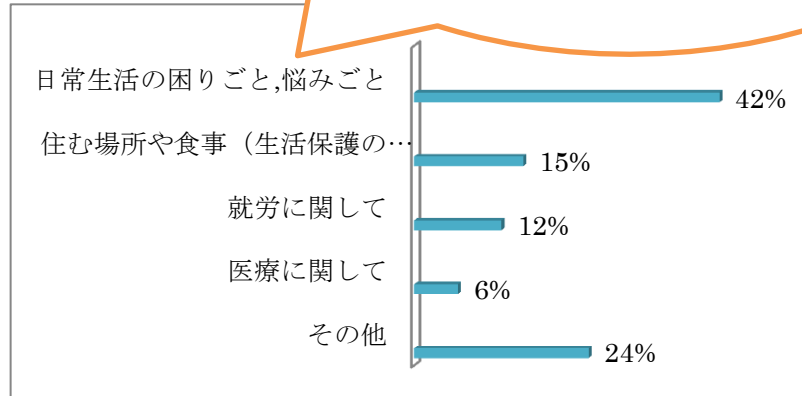
問3 さなぎの家で相談をしたことがありますか？（グラフ割愛）

はい	24名	57%
いいえ	18名	43%
回答者数	42名	100%
未回答者数	1名	

※以下 問3-1～問4は本項目で「はい」と答えた24名に対しヒアリングを行っております。

問3-1 その際の相談の内容をお聞かせください。
（複数回答可）

日常生活の困りごと・悩みごと	14名	42%
住む場所や食事（生活保護の受給・はまかぜの入所希望含む） に関して	5名	15%
就労に関して	4名	12%
医療に関して	2名	6%
その他	8名	24%
回答数合計	33件	100%
回答者数	24名	
未回答者数	0	



日常生活に関することが多く挙げられた。住居・食事の問題だけではなく路上生活をおくっているとしても、当然日々の生活がある。その中で様々な問題が上がるのがうかがえる。そういった相談に関しては、日常的に顔を合わせているさなぎの家が一番相談しやすいという意見を多くいただいた。

問3-2 数ある相談先の中で、さなぎの家で相談しようと思った理由があれば、お聞かせください。（グラフ割愛）

ある	20名	83%
ない	4名	17%
回答者数	24名	100%
未回答者数	0名	

※以下ヒアリング内容

- 気軽に雑談のつもりで色々と問いかけることができるから。
- 土日や年末年始など365日いつでも対応してもらえるから。
- さなぎの家で相談するときは友人に相談するつもりで話をするすることができる。
- 自分自身の活動の場がほしかった際に、様々な活動をしているさなぎの家なら何か紹介してくれると思った。
- ヘルパーを頼んでいるのだが時間や日数の関係で頼めないことが多々ある。そういったことをさなぎの家の友人や職員に頼んでやってもらうことが多い。
- 日ごろから来ているから、相談しやすい。
- 何か困ったことがあったときはまず1番にさなぎの家に行くようにしてる。それで、その相談をするべき場所を教えてもらうようにしてる。
- 職員をよく知っているから。
- 毎日さなぎの家を利用しているので、自分のことを理解してくれているという安心感がある。
- 雑談の中で自然に色々な質問をしているので、結果的に相談してる形になるのかな。

問3-3 さなぎの家で相談して良かった点、不十分だった点があればそれぞれお聞かせください。

(良かった点)

自分ではどうしたら良いか全く分からない状態だったが、落ち着いてアドバイスをもらえた。

- 気軽に相談できた。
- 薬の管理のことで病院で相談しづらかったが、さなぎの家で聞くことができた。

(悪かった点)

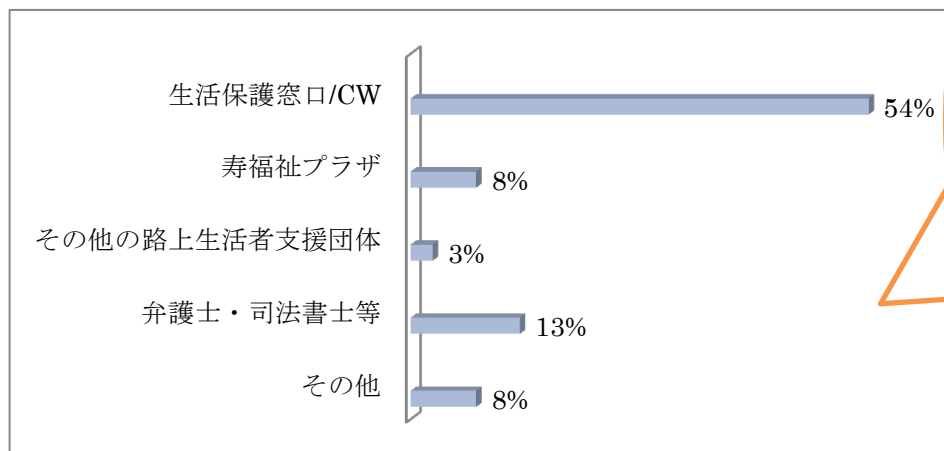
- 中途半端な回答でかえって困った。
- アドバイスを受けアパートに移ることとしたが、公共料金の支払いやゴミの出し方などがわからず、かえって大変だった面もある。(今はアパート暮らしにもう慣れた)

問4 今後もさなぎの家で相談したいと思いますか。(グラフ割愛)

はい	23名	96%
いいえ	1名	4%
回答者数計	24名	100%
未回答者数	0名	

問5 さなぎの家以外で相談したことがあれば、どこで相談したことがあるかお聞かせください。(複数回答可)

生活保護窓口/CW	21名	54%
寿福祉プラザ	3名	8%
その他の路上生活者支援団体	1名	3%
弁護士・司法書士等	5名	13%
その他	3名	8%
無し	6名	15%
回答数計	39件	100%
回答者数	36名	
未回答者数	7名	



全体の中で、他の路上生活者支援団体での相談経験がある方が1名しかいなかったことは非常に興味深い。

問6 相談先を複数回答した方にお聞きします。相談内容によって相談先を変えている場合は、どのように相談先を選んでいるかお聞かせください。

- ・病院にかかりたいとか転居のこととか、お金のかかること・具体的なこと→CW 日常生活の悩みや人間関係のこと→さなぎ
- ・日頃のストレスや疲労感→さなぎ 制度お金→CW
- ・借金のことを法律家に相談した経験がある。

問7 相談事があるのに、どこにも相談できないでいたことがありますか？(グラフ割愛)

はい	16名	41%
いいえ	23名	59%
回答者数計	39名	100%
未回答者数	4名	

「はい」の回答者のほとんどが路上生活初期・寿町での生活を始めたころにこういった経験があると語った。

問7-1 それはなぜですか。また、そういった際にどのような環境があれば相談しやすいですか。さなぎの家や行政に対して望むことがあればお聞かせください。

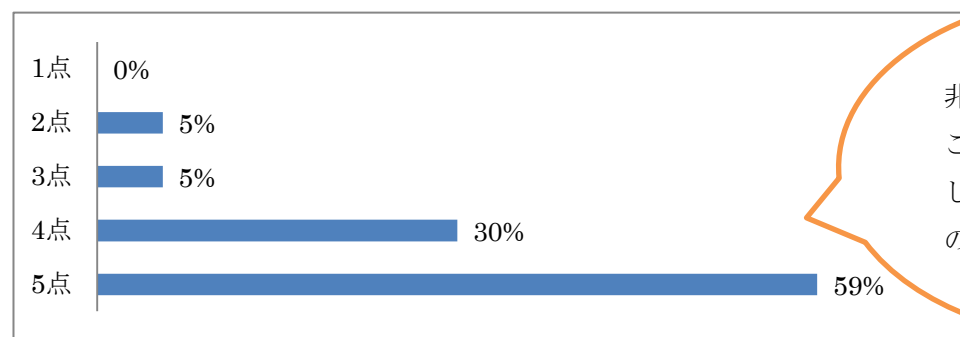
※以下ヒアリング内容

- ・寿で生活し始めた頃、一人途方に暮れていた。どこになにがあるとか、どういうことできる・やってくれる場なのか一覧があると助かる（地図だけじゃなくて）
- ・パン券をもらって生活していた時、食べるだけの毎日とても苦しかった。
- ・路上生活となっていることを自分自身でも自己責任と感じる部分がある。なので相談しづらい。
- ・路上生活が長くなり、殻に閉じこもってたように思う。
- ・生活に困ったとき市（区）役所で相談できるということ自体知らなかった。
- ・さなぎのように毎日顔を合わせることができるといような場があれば安心して話をする事ができるが、そうでなければ自分のことは理解してもらえないと思ってしまう。

④ 満足度

問8 さなぎの家を利用したことがある方にお聞きします。さなぎの家への満足度を1点～5点で教えてください。

1点	0名	0%
2点	2名	5%
3点	2名	5%
4点	11名	30%
5点	22名	59%
回答者数	37名	100%
未回答者数	6名	



非常に高い評価をいただくことができた。低い評価をした方は4名中3名が物品の不足をその理由とした。